

最期まで自分らしく生きるための

医療と介護のあり方

家族がいてもいなくても

2015年度に介護保険制度改正があり、各自治体では次期計画づくりをすすめています。住みなれた地域で、自宅で暮らしつづけるためには、医療と介護の連携をさらに強化し、本人の自己決定が尊重される在宅医療の体制が必要です。これからの介護のあり方や地域のしくみづくりについて、皆で考えます。

日時：2014年8月30日(土)午後1時30分～4時
場所：中央公民館 地下 和室 (けやき)

■介護保険制度改正の内容と課題について

お話し：森山千賀子さん (白梅学園大学教授)

■パネルディスカッション

・西田伸一さん (調布市西田医院・院長)

・吉良桂子さん (看護師)

・竹内啓子さん (居宅介護支援事業所・主任ケアマネージャー)

・認知症家族の会の方

*コーディネーター 森山千賀子さん

■資料代・・・100円

■主催・・・小平・生活者ネットワーク 福祉部会

小平市学園西町2-15-2 CB一橋学園

■参加申し込み

電話・・・042(342)4494

(FAXも同じ)

メール・・・kodaira@seikatsusha.net

